



# EBPMの研究について

(Evidence-Based Policy Making)

**【新宿自治創造研究所】**

令和4年3月19日

# 本日の報告内容

- ① 新宿区をとりまく状況とEBPMの必要性
- ② 政策とは？政策の根拠について
- ③ 新宿区におけるEBPMとエビデンスとは？
- ④ EBPMの事例紹介
- ⑤ 新宿自治創造研究所の調査・研究

# ① 新宿区をとりまく状況とEBPMの必要性

## ネガティブ要素

- ◆ 少子高齢化の進展
- ◆ 厳しい財政状況
- ◆ 社会経済情勢の不確実性の高まり

## ポジティブ要素

- ◆ ICT（情報通信技術）の進展
- ◆ デジタル技術の進歩
- ◆ オープンデータ、ビッグデータ

多様化・複雑化・高度化する区民ニーズに対応するには、  
現場現実に即した政策づくりが必要

データ活用、ICT活用の可能性

データや証拠(エビデンス)に基づく、  
的確で効果のある政策立案を目指す必要

## 政策の根拠

Q1: なぜ、その政策なのか？

👉 政策の**必要性**の根拠が必要

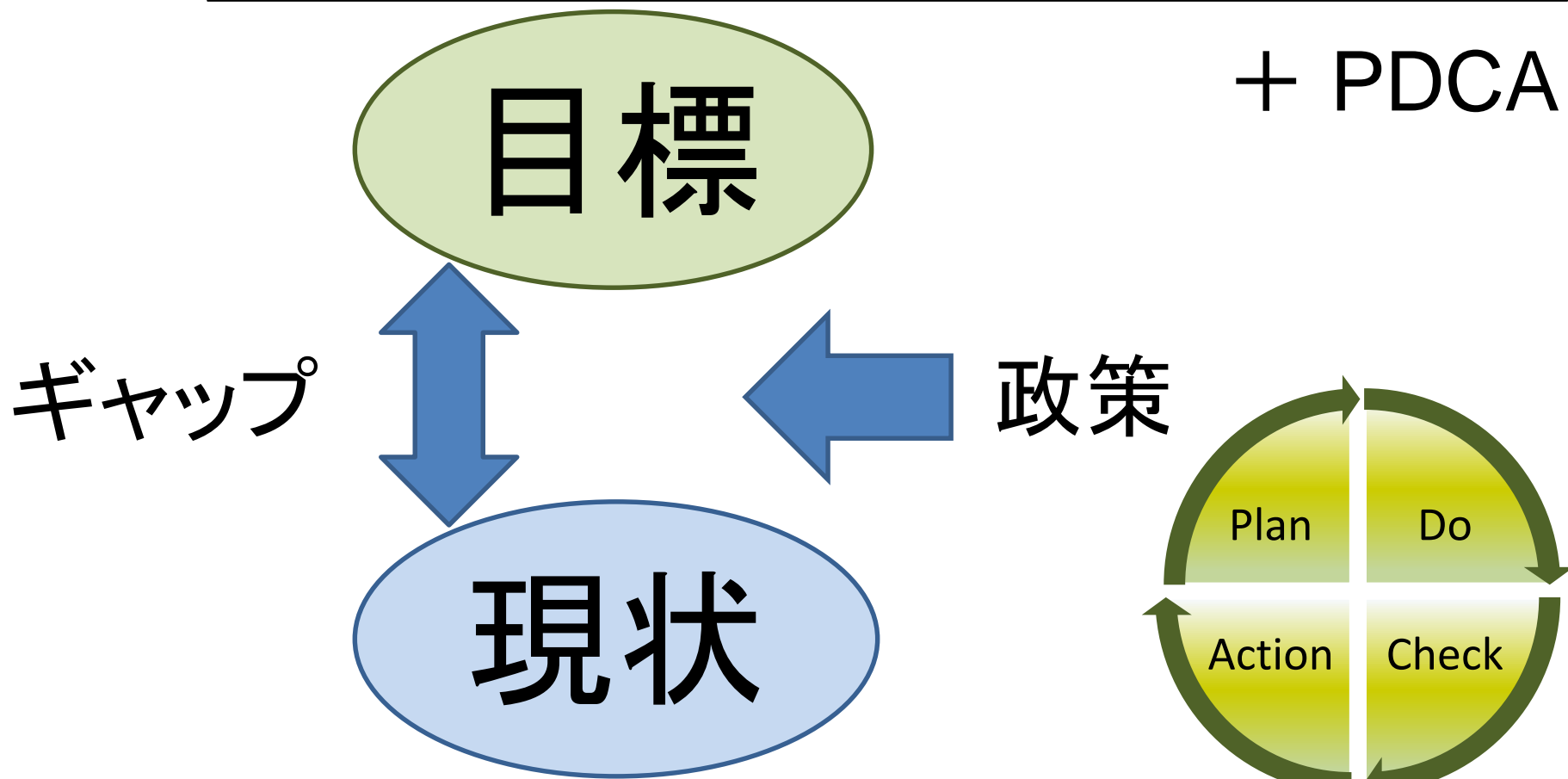
Q2: その政策で本当の効果が出ているのか？

👉 政策の**有効性**の根拠が必要

# 政策とは？

政策 = 目標と現状のギャップを埋める方策

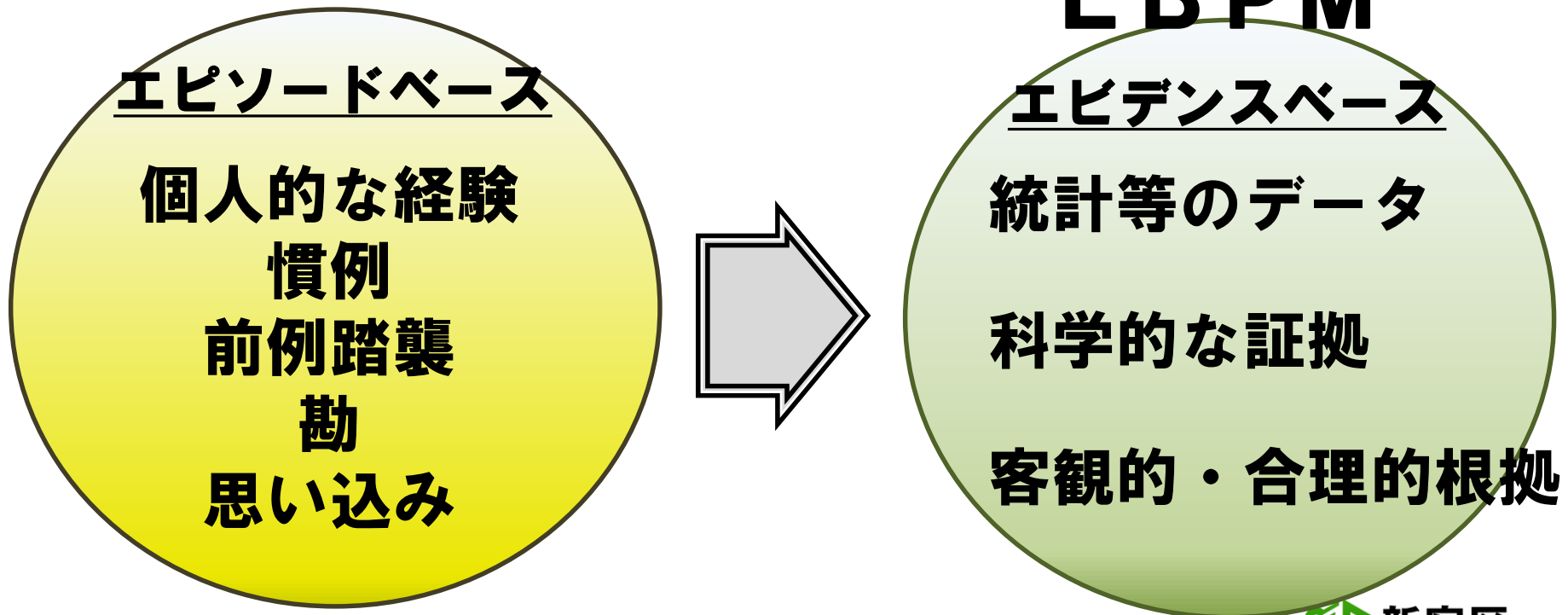
+ PDCA



### ③ 新宿区におけるEBPMとエビデンスとは？

## 新宿区におけるEBPM

政策づくりにおいて、政策の根拠と目的を明確化し、政策の手段と効果とのつながりについて、できる限り客観的に検証等を行うことで、その検証結果を政策の立案や改善につなげていくこと



### ③ 新宿区におけるEBPMとエビデンスとは？

## エビデンス(証拠)とは何か

**広義のエビデンス**とは、  
現状把握のための統計等の定量的データ、定性的データ、  
それらの分析結果等

### 👉 政策の**必要性**の根拠 ※

「なぜ、その政策なのか？」に対応

**狭義のエビデンス**とは、

- ・政策とその成果(アウトカム)の因果関係
- ・政策と効果の関係を、データを活用し、客観的に検証した結果

### 👉 政策の**有効性**の根拠 ※

「その政策で、本当の効果が出ているのか？」に対応

※ エビデンスに結び付けた「政策の必要性の根拠」「政策(手段)の有効性の根拠」という表現については、  
2022年1月21日(金)実施 令和3年度政策評価に関する統一研修の小林庸平講師  
『政策評価とEBPMをどう連動させるか？—基本的な考え方と実践例—』, p.5 を参考にさせていただきました。

## 統計的な分析の手法(一例)

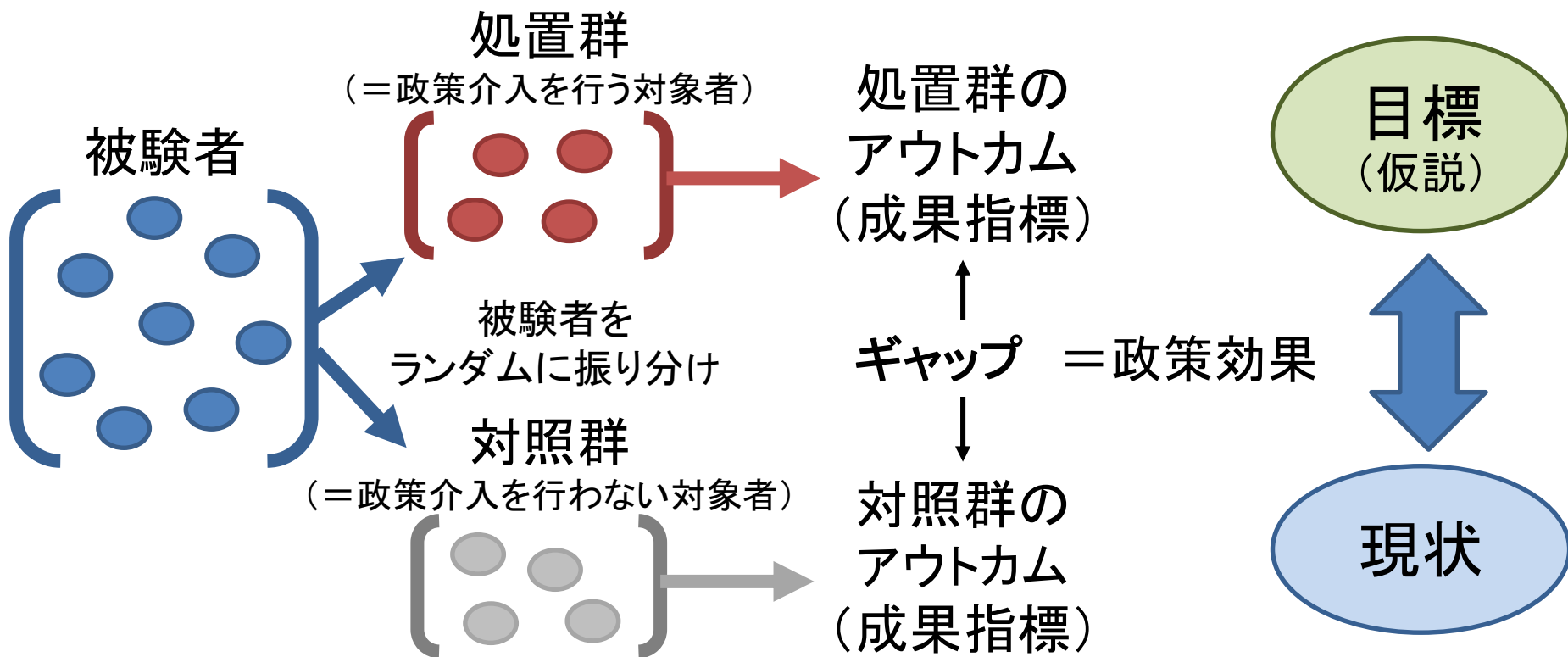
- ・ランダム化比較試験(RCT)
- ・回帰不連続デザイン
- ・操作変数法
- ・差の差の分析
- ・重回帰分析
- ・前後比較



### ③ 新宿区におけるEBPMとエビデンスとは？

## ランダム化比較試験(RCT)

ランダム化比較試験とは、政策の介入対象者(処置群)と、政策の非介入対象者(対照群)をランダムに振り分け、実験的な効果を比較する手法。  
政策と成果の因果関係＝狭義のエビデンスを定量的に明らかにできる



# 神奈川県葉山町の事例 「資源ステーションの利用最適化の実現」



葉山町職員の大前正嗣氏 『葉山町きれいな資源ステーション協働プロジェクト』, 2019 を参考にしています。  
同資料は、神奈川県政策研究フォーラム平成30年「自治体におけるEBPMの推進に向けて」登壇時に使用された資料。

# 神奈川県葉山町の事例 「資源ステーションの利用最適化の実現」

## 葉山町きれいな資源ステーション協働プロジェクト概要

- Step1. 現況調査 (H27年11月)
  - ▶ モニタリング調査による現状把握
- Step2. 対策の検討(H27年12月からH28年3月)
  - ▶ ワークショップにより対策案を決定
- Step3. 対策の効果検証 (H28年5月から6月)  
結果の共有 (H28年8月)
  - ▶ ランダム化比較実験 (RCT)
- Step4. 政策の実行 (H29年12月)

# 神奈川県葉山町の事例 「資源ステーションの利用最適化の実現」

## 「ランダム化比較実験（RCT）」

期間：平成28年5月16日～6月13日

**160箇所** 延べ**115人**が **1600回**モニタリング

どのステーションがどの対策をやるのかは**くじ引き**で決定

モニタリング対象の  
資源ステーション

**160**ヶ所

\* 全ステーションの約3割

対策1グループ

チラシのポスティング **54**ヶ所



対策2グループ

収集終了の看板 **53**ヶ所



対策なしグループ

**53**ヶ所

# 神奈川県葉山町の事例 「資源ステーションの利用最適化の実現」

結果の共有 エビデンス出ました②



収集終了看板  
に効果有り

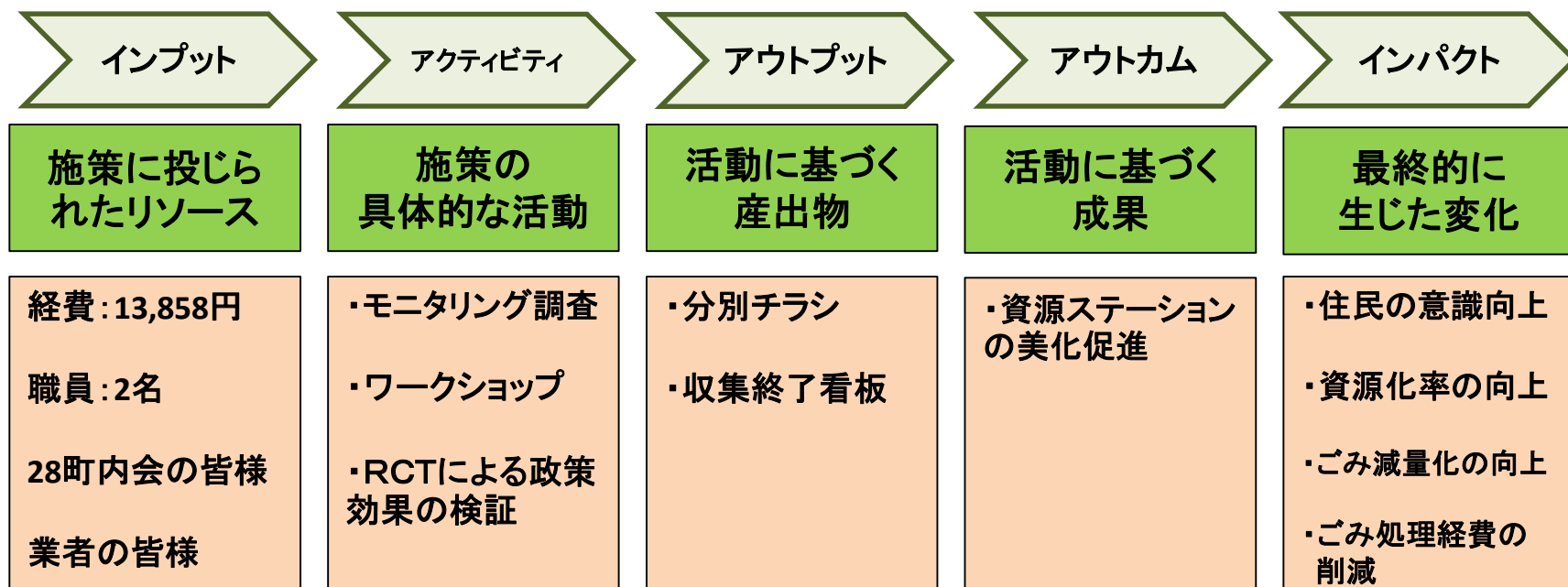
不法投棄全体で  
**15%減**の効果

しかも、効果が持続した

# 神奈川県葉山町の事例 「資源ステーションの利用最適化の実現」

プロジェクトのロジックモデル

課題：資源ステーションの美化



葉山町職員の大前正嗣氏 『葉山町きれいな資源ステーション協働プロジェクト』, 2019

同資料は、神奈川県政策研究フォーラム平成30年「自治体におけるEBPMの推進に向けて」登壇時に使用された資料。

[ <https://www.pref.kanagawa.jp/documents/44494/2-4kanagawaebpmforumhayama.pdf> ]

## 新宿自治創造研究所の調査・研究

### 令和3(2021)年度

EBPMの定義

EBPMの理論・手法

EBPMへ至る経緯と現状  
(EBPM先進事例)

EBPMの推進に向けて  
新宿区におけるEBPM

**基礎的な研究**

### 令和4(2022)年度

EBPMの事例研究  
(より発展的な事例研究)

EBPMに向けた実務的な検証・  
分析

職員向アンケート調査・分析

庁内EBPM研修の内容検討

**実務的な研究**

# 令和4年度 EBPMの推進に関する調査・研究

## 新宿区の事業の検証を実施

行政評価  
の確認

ロジックモデル作成

事業の根拠と目的を明確化  
事業の手段と効果の検証

事業の  
課題  
整理

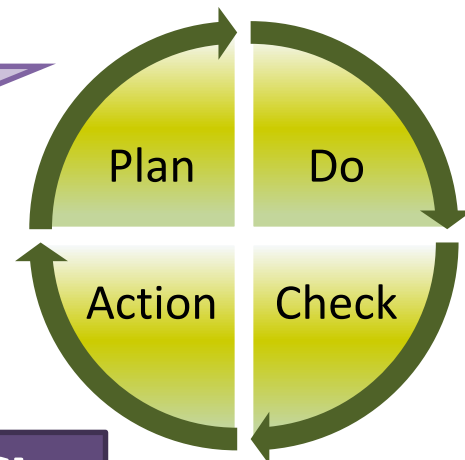
事業見直し

予算要求

事業実施

現課

新宿自治創造  
研究所



検証を通じたPDCAサイクル活性化